

引用・参考文献他(順不同)

- ・鈴木治 1968 天理大学学報「宇賀志向」：1-3、6-7
- ・宇田川洋 1996 「アイヌ自製品の研究－仕掛け弓・罾」東京大学文学部考古学研究室 東京大学文学部考古学研究室研究紀要
- ・宇田川洋 1994 「アイヌ自製品の研究－矢尻」東京大学文学部考古学研究室 東京大学文学部考古学研究室研究紀要
- ・宇田川洋 1988 北海道出版企画センター 「アイヌ文化成立史」
宇田川洋校注 1981 北海道出版企画センター「河野常吉ノート 考古篇1」
- ・門崎允昭 2002 北海道出版企画センター「アイヌの矢毒 トリカブト」：6、8-9、25、40
- ・門崎允昭「アイヌとトリカブト」：41-48
- ・長沢利明 2012 民族学の散歩道13「神武天皇とアユ」：
- ・北海道文化局振興課 「北の生活文化(アイヌの人々の民具)」
- ・小林青樹 2011 科研費NEWS「弥生文化のルーツの解明」2011年度VOL2
- ・ジョン・パチラー 1995 安田一郎訳 青土社「アイヌの伝承と民族」：24、186-189 377-378
- ・ウィキペディア「アイヌ文化」「アマツポ」
- ・ウィキペディア「ヒエ」
- ・ウィキペディア「土蜘蛛」
- ・ウィキペディア「竪穴式住居」
- ・ウィキペディア「掘立柱建物」
- ・大林太良 1992 小学館「海と列島文化(建築をとおしてみた日本-佐藤浩司)」：520-533
- ・世界大百科事典 大2版「弩」
- ・金田一京助 1923 世界文庫刊行會「アイヌ聖典」：2
- ・金田一京助 1973 三省堂「アイヌ文化誌 金田一京助選集2」：441-445、47-449
- ・金田一京助・金成まつ 1961 三省堂「アイヌ叙事詩 ユーカラ集II」61-62、90-92
- ・金田一京助 1940 八洲書房「アイヌの研究」：102、211-217、238-230
- ・大島直行 2003『復旧啓発セミナー報告書「アイヌ文化に探る縄文の息吹」』：70
- ・ト部兼方・兼右本 1990『日本書紀原文「巻03 神武天皇」「巻03 景行天皇」「巻28 天武天皇(下)」』
- ・宇治谷孟 1988 講談社学術文庫 日本書紀全現代語訳 巻第三神武天皇 「巻第七景行天皇」「巻第二十九天武天皇(下)」
- ・武光誠 2012 東京堂出版「歴史書「古事記」全訳」：124-133、154-158、174-179、167、180-183、239-242、407
- ・宮澤豊徳 訳 2009 ほおずき書籍「日本書紀 全訳」：52-53、91-93、95、97、99-107、161-163、166、168-172、185-186、193、259、368-370
- ・栗田寛 1927 大岡山書店「古風土記逸文」：16、107-110、115、208-210、228-229、236-237、
- ・吉野裕 訳 1969 平凡社「風土記」：常陸国風土記9-10、13、15-18、28・豊後国風土記234-238・肥前国風土記247-248、254、257-262
- ・1927 丹後資料叢書刊行会「丹後資料叢書第一巻 丹後国風土記残欠」：6、9-11
- ・直木孝次郎 他12名 訳注 1992 平凡社「続日本紀 4」：315-323
- ・大本敬久 2015 シン垣サミットin 愛媛予稿集「日本におけるシン観の変遷－獣・猪・鹿・穴・肉－」：17
- ・財団法人北海道埋蔵文化財センター 1985-1988「小樽市忍路土場遺跡・忍路5遺跡
－北後志東部地区広域営農団地能動整備事業用地内埋蔵文化財発掘調査報告書－」：8
- ・片岡生悟 2020 東京大学考古学研究室研究紀要「縄文・弥生時代の弓矢について－完形出土品を中心とした分析と考察」：71-72
- ・船山信次 2021「天平時代の薬と毒」薬史学雑誌56(1)：7-12
- ・米村・哲英・松下亘・阿部三郎 1967「網走湖底遺跡調査報告博物館報告書」<網走土博物館2>：39
- ・小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中進・毛利正守・稲垣節也 2007『日本の古典を読む「日本書紀(上)巻第三神武 天皇」「巻第七景行天皇」』『日本書紀(下)「巻第二十九天武天皇(下)」』
- ・北海道教育長生涯学習推進局 文化財・博物館課「北の遺跡案内」
- ・公益社団法人北海道アイヌ協会「アイヌ民族の歴史」「主な沿革」
「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策に関する法律」(平成三十一年法律第16号 アイヌ施策推進法)
- ・京都産業大学「宇宙の起源は？宇宙物理学を駆使してここまでわかった宇宙の謎！」
- ・北海道歴史・文化ポータルサイトAKARENGA「北と南の文化が出会う－オホーツク文化・擦文文化」「続縄文文化の多様性」
- ・北海道デジタルミュージアム「続縄文文化の多様性」
- ・増田隆一・佐藤丈寛 2006「オホーツク文化人の遺伝的特徴」
- ・宇田川洋 1988「アイヌ文化成立史」
- ・宇田川洋校注 1981「河野常吉ノート 考古篇1」
- ・鈴木治「天理大学学法 宇賀志考」：1-12
- ・新岡武彦 1937「人類学雑誌52・3 樺太の内耳土鍋」：2
- ・蝦夷の風/EZO no KAZE 2020「史実に残るアイヌのルーツとユーカラの真実」

- ・河野廣道 1934 「人類学雑誌40・1 アイヌのイナウシロシ(1) イナウの研究Ⅱ」：14, 18
- ・CBA' I 1962 「Flying saucer News 古代オリエントの円盤—有翼太陽円盤の謎—」
- ・国立歴史民俗博物館「遺跡発掘調査報告書放射性炭素年代測定データベース」
- ・(株)パレオラボ「年代測定及び推定法」名古屋大学 宇宙地球環境研究所年代測定研究部「加速器質量分析計 2号機—分析測定機器—」
- ・吉崎昌一 1993 講談社『海・渦・日本人—日本海文明交流圏』「古代北方農耕文化の源流」：4—5
- ・吉崎晶一 1997 文部省科学研究費重点領域研究「日本人および日本文化の起源に関する学術的研究」News Letter No.2 pp5—6「縄文時代におけるヒエ問題」：1
- ・吉崎晶一 1997 「縄文時代の栽培植物」第四紀研究(The Quaternary Research) 36 (5) p.343-346
- ・那須浩郎 2018 縄文時代の植物のドメスティケーション, 第四紀研究(The Quaternary Research), 57(4) p.109-126, 電子付録S3
- ・坂本寧男 1988 「雑穀のきた道」
- ・林善茂 1966 慶友社「アイヌの農耕文化」：63—69
- ・米田優子 1995 「北海道アイヌ民族文化研究センター研究紀要第01号 アイヌ農耕史にみられる伝承資料利用の問題点—穀物の起源説話に関する検討を中心に—」：1-2、12—21
- ・高橋健 2008 北海道出版企画センター「日本列島における銚子の考古学的研究」：28-40 98-102
- ・高橋健 2001 「続縄文時代前半期の銚頭の研究」東京大学考古学研究室 東京大学考古学研究室研究紀要16、83—137
- ・山浦清 2015 国立民族学調査報告 No132 環北太平洋地域の先住民文化 岸上伸啓編
「北太平洋沿岸における怪獣の展開—銚子・銚頭を指標として—」：82—83、85—86、88—92」
- ・菊池徹夫 小学館日本大百科全書(ニッポニカ) 「キテ」
- ・一木絵里・辻誠一郎・杉山陽亮・村木淳・宇部則保・中村俊夫 2015 『第四紀研究54(5) P271—284 「青森県八戸市の縄文時代早期貝塚出土資料の14C年代と海洋リザーバー効果」』：271—274、276—278
- ・北見市教育委員会社会教育部 ところ遺跡の森「縄文時代早期・前期の土器」
- ・佐藤浩司 1992 「海と列島文化第10巻 建築を通してみた日本(土蜘蛛と穴居)：520—540
- ・白峰村 1982 「白峰村史(現石川県白山市)上巻 第四節 衣食住の変遷二 食生活p386〜」主食(主食のあらまし)」
- ・阿部幸一 1981 日本標準「北海道の伝説 北海道郷土教育研究会編 (アイヌに文化をさずけたオキクルミカムイ—日高管内平取町)」：215—219
- ・荒木陽一郎 1989 弘前大学国史研究会ja<東北古代史研究講座>「蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題：第一回研究史と 課題」：56—59
- ・貝塚茂樹 1964 「中国の歴史」上：7
- ・日本の神話 神話の森・古典篇「口訳 常陸国風土記 六・七」
- ・仁科宗一郎 1972 柳沢書苑「安曇の古代・仁科濫觴記考」
- ・酒井松堂 編 1925 信濃研究会「信濃の伝説(信濃叢書・第1編)」：70—73
- ・坂本博 2003 近代文芸社「信濃安曇族の謎を追う」：198—206
- ・根室シンポジウム実行委員会 編者 1990 北海道出版企画センター「三十七本のイナウ」：川上淳146—167
- ・菊池秀夫 2010 彩流社「邪馬台国と狗奴国と鉄」：33—71
- ・賀陽朝臣為徳 1810頃 吉備津神社資料「備中国大吉備津宮略記」
- ・「備中誌 吉備津宮縁起」
- ・了観 1338 高千穂神社文書「高千穂十社御縁起」
- ・樋口種実 1863 「高千穂庄神蹟明細記」
- ・荒木博之 1999 日本ナショナルトラスト編 日本ナショナルトラスト「季刊 自然と文化第60号—九州脊梁山地/山人の秘儀—」 鬼八伝承を巡って—土蜘蛛と山姥—
- ・新谷行 2015 河出書房新社「アイヌ民族抵抗史」：40—53、73—82、83—105、106—134
- ・菊池勇夫 編 2003 吉川弘文館「日本の時代史19 蝦夷島と北方世界」：33—34、50—54、62—66、74—75

表・図版

- 表1 「ヤマトと死闘を繰り広げた日本各地の原住民一覧」【土蜘蛛】
- 表2 「ヤマトと死闘を繰り広げた日本各地の原住民一覧」【国栖・佐伯・蝦夷・熊襲・隼人】
- 表3 「ヤマトと死闘を繰り広げた日本各地の原住民一覧」【その他の原住民】
- 表4 「縄文時代(早期・前期・中期・後期・晩期)及び続縄文時、擦文時代の5期+2時代における住居遺跡(含む貝塚遺跡)の使用状況
- 表5 S3 過去10,000年間のヒエ属穎果のサイズ(長さ×幅)変化 データの詳細
那須浩郎(2018)縄文時代の植物のドメスティケーション,
第四紀研究(The Quaternary Research), 57(4) p. 109-126、電子付録S3
- 図1 「ナレナレ木5点」(天草市立本渡歴史民俗資料館所蔵)
- 図2 「上野原縄文の森展示室埋蔵センターの土器類」(鹿児島県立埋蔵文化財センター所蔵)
- 図3 「隼人の盾」 隼人塚史跡館所蔵(複製品)
- 図4 「国指定史跡隼人塚」
- 図5 「縄文土器(中津式土器)他」(市立熊本博物館所蔵)
- 図6 「御物石器・アイヌ聖典に二重の明光・三重の明光と記された聖なる文様を刻む。(2,016年撮影) (飛騨民族考古館所蔵)
- 図7 「牧地区出土の縄文土器他」(穂高郷土資料館所蔵)
- 図8 「削り花4点・ゴイワイボウ・セイノカミに供える花」 「館内展示土器他」(長野市立博物館所蔵)
- 図9 「削り掛(上)・削り花(下)」 「館内展示土器他」(諏訪市博物館所蔵)
- 図10 「大鹿村中央構造線博物館の各展示室。北口露頭剥ぎ取り標本、立体地質模型、岩石の大型切断研磨標本他。」
(大鹿村中央構造線博物館所蔵)
- 図11 「茅野市内から出土の縄文土偶・縄文土器他」(茅野市尖石縄文考古館所蔵)
- 図12 「考古学的時代区分の各年代(始期・終期)
- 図13 「入江貝塚公園内に復元した縄文時代後期(約4,000年前)の土ぶき堅穴式住居」(写真提供:洞爺湖町教育委員会)
- 図14 「ヤマトと死闘を繰り広げた日本各地の原住民分布図」
- 図15 「入江貝塚公園内に復元した縄文時代後期(約4,000年前)の土ぶき堅穴式住居」(写真提供:洞爺湖町教育委員会)
- 図16 「平地式住居・チセ ウボポイ(民族共生象徴空間)にて撮影」。(北海道白老町若草町)
- 図17 「アフラマツダ像(イラスト)」
- 図18 「鍋田横穴の有翼太陽円盤像の壁画(左)とそのイラスト」
- 図19 「小田良古墳」(熊本県宇城市) 熊本県立装飾古墳館
- 図20 「復元されたイタオマチブの船首の飾り板にシントを意味する太陽マークの装飾」(札幌市南区黄金湯・ピリカコタン)
- 図21 「ヒエの穂」(平取町立二風谷アイヌ文化博物館所蔵)
- 図22 「考古学的時代区分の各年代(始期と終期)」
- 図23 「土器に残ったヒエの圧痕画像」・遺跡名:館崎遺跡・出土場所:北海道福島町・年代:縄文時代前期～中期(約5,000～4,500年前)
・画像:熊本大学 小畑研究室提供
- 図24 図2 過去10,000年間のヒエ属穎果のサイズ(長さ×幅)変化
那須 浩郎(2018)縄文時代の植物のドメスティケーション,
第四紀研究(The Quaternary Research), 57(4) p. 109-126のp. 117, 図2のAを抜粋
- 図25 「能登比咩神社御由緒の碑」 写真提供:能登比咩神社 (石川県鹿島郡中能登町)
- 図26 「万歳楽土で使用される祝い棒(削り掛) 写真提供:櫛比神社 (石川県輪島市門前町)
- 図27 「銚頭 雄型・雌型の比較」
- 図28 「図4 銚頭の種類と各部分の名称」 出典:日本列島における銚頭の考古学的研究:28 高橋 健(2008)北海道出版企画センター
- 図29 「銚頭とシャフト(柄) 入江・高砂貝塚館所蔵 (北海道虻田郡洞爺湖町高砂町)
- 図30 「図5 北海道の銚頭出土遺跡」 「図6縄文時代北海道の銚頭の形態と素材」
出典:日本列島における銚頭の考古学的研究:30 高橋 健(2008)北海道出版企画センター
- 図31 「東釧路Ⅲ式土器。網走湖底遺跡出土、縄文早期後半。」(網走市郷土博物館所蔵資料)
- 図32 「網走湖底遺跡出土の石器及び骨角器」 網走市郷土博物館所蔵資料
- 図33 「図9縄文時代前期の銚頭」 出典:日本列島における銚頭の考古学的研究:33 高橋健(2008)北海道出版企画センター
- 図34 「有珠モシリ遺跡出土の骨角器(銚頭)」(重要文化財) 所属機関「文化庁」 保管「伊達市教育委員会」
- 図35 「クワリ(アマツツ) 和名:仕掛け弓」(平取町立二風谷アイヌ文化博物館所蔵)
- 図36 「図40-3 イッパケニ(シカをおびき寄せる笛)」
「図40-4 ばね仕掛けの弓(部品)」

「図40-5 ばね仕掛けの矢をセットする」

図37 「北海道アイヌ熊祭り画」 (北海道大学植物園 北方民族資料室所蔵)

図38 「幼少期のヒグマの首に認められる月の輪(イラスト)」

図39 「クマ彫刻付き匙型製品(骨角器)、有珠モシリ遺跡出土」

所蔵機関「文化庁」 保管「伊達市教育委員会」

図40 「図40-1 毒矢」 出典：アイヌの伝承と民俗：379 ジョン・パチラー 安田一郎訳(1995) 青土社

図41 「仕掛け弓台」 石狩市教育委員会提供

「石狩紅葉山52号遺跡＝札幌市K483遺跡発掘調査報告」P. 103.

図42 「北海道伊達市・有珠モシリ遺跡出土の縄文時代(約2,000年前)の骨角器(銚頭)」

重要文化財 所蔵機関「文化庁」 保管「伊達市教育委員会」



図42

渦巻文様を刻んだ銚頭

北海道伊達市、有珠モシリ遺跡から出土した続縄文時代(約2,000年前)の骨角器(銚頭)。アイヌ文様や縄文土器などにも見られる渦巻文様及び同余市町フゴッペ洞窟の刻画を想起させる文様(左端から3番目)が刻まれている。

所蔵機関：「文化庁」 保管：「伊達市教育委員会」



AEAROSPACE NEWS AGENCY SAPPORO



Website : <https://aerospacenews.org/>

E-mail : info@aerospacenews.org

☆ タイトル **Aerospace UFO News UFOLOGY VOL.40-1 2023-6**

氏族連合体・日本の原住民『土蜘蛛〔クズ・サエキ・ヤツカハギ・鬼・蛇(オロチ)〕エミシ・アイヌ』
人間国土防衛の歴史とアイヌの口承文芸！！

☆ 科学的なUFO専門研究誌 Aerospace News Agency sapporo / IUOC機関誌

☆ 発行日 2023年6月10日 初版第1刷発行

☆ 発行所 Aerospace News Agency Sapporo編集局

E-mail : info@aerospacenews.org

☆ 編集人 布川賢治

☆ 発行人 布川誠一

☆ イラスト 小林裕麻

☆ 印刷・製本 プリントハウス時計台ビル店

TEL 011-231-0900

札幌市中央区北1条西2丁目1番地札幌時計台ビルB1F

—非売品— (会員無料頒布)

きもの処 円山 彩蔵 
 -さくらら-

その方の雰囲気にあわせた
 洋服姿の中でも映える、
 オシャレな着姿をご提案する
 札幌 円山の
 着物セレクトショップ。



着付け教室 各地で開催中：札幌・小樽・旭川・帯広・函館・仙台・大崎・山形

次世代マツエク 
LED Extension

圧倒的
スピード

圧倒的
持続力

完全硬化
2秒

    

LED
エクステ専門店

目元美人
 百 ~momo~

髪が美しく蘇る
 ノンジアミンカラー・クセ毛カット専門店

- ・世界5カ国で特許をもつキュービズムカット
- ・頭皮の痒みなどアレルギー対応のカラー
- ・髪質改善ヘナ
- ・ドライヘッドスパ

BONNIE
 hair design

